

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	国立大学法人琉球大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	コクリツダイガクホウジンリュウキュウダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F147110111736
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	沖縄県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	大学等名2(連携大学等)	名桜大学
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	沖縄県
	大学等名2(連携大学等)学校種別	公立大学
	大学等名3(連携大学等)	沖縄大学
	大学等名3(連携大学等)学校所在地	沖縄県
	大学等名3(連携大学等)学校種別	私立大学
	大学等名4(連携大学等)	沖縄キリスト教学院大学
	大学等名4(連携大学等)学校所在地	沖縄県
	大学等名4(連携大学等)学校種別	私立大学
	科目名	キャリア関係特別講義Ⅱ(県内中期インターンシップ:うりずんインターンシップ)
	学部・研究科等名	グローバル教育支援機構 キャリア教育センター
	担当教職員名・役職	武田 和久・准教授/屋嘉部一美・特命一般職員、
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	29
	受入企業等数	31
受入企業等名	English Teachers In Okinawa、メルキュールホテル沖縄那覇、沖縄气象台、株式会社ファンスタイル、独立行政法人 国際協力機構沖縄センター(JICA)、特定非営利活動法人エンカレッジ、沖縄トヨタ自動車株式会社、株式会社トヨタレンタリース沖縄、OPENER Management株式会社、EY税理士法人、株式会社国建まち・しまデザイン部、株式会社ソルパック、株式会社琉球光和、株式会社 JTB沖縄、沖縄ヤクルト株式会社、全研本社 株式会社、株式会社 ビーンズ・ラボ、琉球放送 株式会社、株式会社 琉球新報社、ユーマーク株式会社、株式会社 ヤマダヤ、株式会社 ケーエスジャパン 沖縄支社ザ・ホテリア・グループ那覇株式会社 沖縄ハーバービューホテル、株式会社 大城組、沖縄振興開発金融公庫、ROS株式会社、株式会社 IMI CORPORATION、沖縄タイムス社、株式会社コロロメソッド発達療育支援センター、株式会社SEEC、株式会社アイセック・ジャパン、株式会社 IMI CORPORATION ※科目履修以外を含めると他29社【計60社】	
産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3(汎用的能力活用型インターンシップ)	
キャリア形成支援活動の分類	2.有給インターンシップ 4.国際機関でのキャリア形成支援活動 6.低学年(大学1年次~2年次程度)を対象としたキャリア形成支援活動 7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 9.大企業・グローバル企業でのキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動 11.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のキャリア形成支援活動	
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)	上記2の有償型は2社のみ	

項目	確認事項	届出内容
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	例として、①農業DXを事業化しているIT企業:データサイエンスを学ぶ文系学生がプログラミング言語をe-ラーニングで3週間学び、若者が農学に取り組めるアプリの開発、②建築会社:建築学コースと観光地域デザインプログラムコースの学生等が自治体の公民館を視察し、村民に利用されやすくするためのニーズや観光地としてのバランスなど現状での課題をリサーチして解決案を提案する等、社員と同じ就業環境を経験し、所属学科での専門的な学びの深化を意識して業務で求められる能力・スキル等の学生自身の課題が発見できるプログラムを目指している。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部1年 大学 学部2年 大学 学部3年 大学 学部4年 大学院 修士1年 大学院 修士2年
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位 大学院 1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	全学部・全学年対象の共通教育科目・選択科目として、夏季休暇期間中に実施し、2単位付与する。大学院生については修了要件に設定していないが、就業体験5日では1単位を指導教員の確認のもと成績証明書類に反映している。 なお、他大学学生の参加も認めており、単位付与は各参加校で設定されている。
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	企業に対して事前に実習プログラム案(事例)を提示し、企業の実情にあったプログラム案を作成してもらっている。事前研修では令和4年度より、新たに「就活ハラスメント研修」を実施。学内ハラスメント相談支援センター執行委員3名(元弁護士の教授等)が担当している。

項目	確認事項	届出内容
要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップ等の就業体験の成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている 4.その他
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	成果発表(ポスターセッション)で作成した学生の資料を、学生の同意に基づいて企業へ提供する。
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	実習中にはキャリアコンサルタントが、学生の状況の把握に務め、必要に応じて企業・学生にアドバイスを行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	「インターンシップとは何か」「キャリアデザイン」「自らを就業人とみなす姿勢を身につける」「就業人と学生の違い」「モチベーション向上」の座学、「受入先企業の紹介」「実習日報の作成について」および3種類(①自己紹介・②企業研究・③目標設定)のプレゼン発表、ビジネスマナー実践(名刺交換等)をグループワークを通して実施している。その他、令和4年度より「就活ハラスメント研修」を実施。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	成果発表会としてポスターセッションを実施している。他社インターンシップに参加した学生達および受入企業の担当者の前で発表を行い、実習目標に対する達成度や今後の学生生活、進路についてコメントやアドバイスを受ける。成果発表後は、受入先企業担当者が作成した「社会人基礎力フィードバックシート」と「インターンシップ修了証書の授与」を行っている。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	学生が実習中にはキャリアコンサルタントが、学生の状況の把握に務め、必要に応じて企業・学生にアドバイスを行っている。	
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、キャリア形成支援活動の実施前後で回答を求めている 3.キャリア形成支援活動による到達度を具体的に示した評価基準(例:ルーブリック)を整備し、学生及び教員で共有している 4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	受入企業にも評価してもらっている。
	4-3.上記回答内容に関する詳細	①課題(実習日報、成果発表ポスター試作版・完成版)提出状況、②課題・成果物の内容、③アンケート、④受入れ企業による学生へのフィードバックシートの4点をメインに教育的効果を把握している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等において就業体験を実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	5日以上(受け入れ先企業による)
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	事前研修1日+実施3日以上+事後研修1日
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	事前研修1日+実施5日以上(2社以上の組み合わせ)+事後研修1日
5-2.「4.その他」の実施期間の内容		

項目	確認事項	届出内容
	5-3.上記回答内容に関する詳細	正課科目での履修希望学生全員に対し、三省合意インターンシップ改正に則って4種類の「タイプ3」を厳守し、実習日数5日間以上で就業体験を含むことを徹底した(5-2「事前・事後学習を合わせて5日間以上」の場合は、科目履修不可)。受入先企業にも事前説明会で共有し、対面での就業体験の日数確保にご協力いただいた。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している 2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している 3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している 6.企業と協働して、PDCAを実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	①企業情報交換会、②企業&学生交流会の実施。
	6-3.上記回答内容に関する詳細	企業募集期間中に「企業情報交換会」を開催し、三省合意改正インターンシップの説明や好事例紹介、質疑応答の場を設けており、プログラムは希望や事例を提示して協働して作成している。また、研修においては内容の確認や参加(事後研修)を求め、実習中は学生の日報に対するコメントや「社会人基礎力フィードバックシート」の作成を依頼しており、学生に対する教育的効果の向上に努めている。「企業&学生交流会」は、社会人と交流したことのない学生が仕事やキャリア相談したり、希望実習先を検討したい学生と交流する(企業紹介ではなく社会人からキャリアを知る機会)。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://career.lab.u-ryukyu.ac.jp/urizun_intership/
問い合わせ先	大学等名	琉球大学
	担当部署名	学生部 学生支援課 就職係
	担当者役職名	係員
	担当者氏名	伊藤 暢崇
	電話番号	098-895-8118
	メールアドレス	sysykari@acs.u-ryukyu.ac.jp